



日本史 B 問題

はじめに、これを読みなさい。

1. この問題用紙は 15 ページある。ただし、ページ番号のない白紙はページ数に含まない。
2. これは、日本史 B の問題である。出願の時に選択した科目であるかどうかを確認の上、解答すること。
3. 監督者の指示にしたがい、解答用紙の氏名欄に必ず氏名を記入すること。
4. 解答用紙に印刷されている受験番号が正しいかどうか、受験票と照合して確認すること。
5. 解答は、すべて解答用紙の所定欄に記入またはマークすること。所定欄以外のところには何も記入しないこと。
6. 問題に指定された数より多くマークしないこと。
7. 解答は、必ず鉛筆またはシャープペンシル(いずれも HB・黒)で記入すること。
8. 訂正する場合は、消しゴムできれいに消し、消しくずを残さないこと。
9. 解答用紙は、絶対に汚したり折り曲げたりしないこと。
10. 文字は一点一画まで正確に書くこと。
11. 解答用紙はすべて回収する。持ち帰らず、必ず提出すること。ただし、この問題用紙は必ず持ち帰ること。
12. 試験時間は 60 分である。
13. マークの記入例

良い例	悪い例
	

※ この問題用紙は、必ず持ち帰りなさい。



- [I] 次の文章は、主に日本の古代について述べたものである。これを読んで、下記の設問に対するもっとも適切な答えを書きなさい。設問1, 2, 5, 7, 9については記述解答欄に書き、設問3, 4, 6, 8, 10についてはマーク解答欄にマークしなさい。

古代の日本は、さまざまな面で大陸の強い影響下にあった。奈良県高市郡明日香村の 古墳の発掘調査で1972年に発見された壁画には、中国の戦国時代からの思想にある四神(東の青龍、西の白虎、南の , 北の玄武)が描かれていた。大宝律令は唐の法典である を手本にしており、八省の政務分担も、中国の行政機構を下敷きにして作られた。基盤の目状に区画された平城京や平安京の設計は をモデルにしており、円形の中央に四角形の穴が開けられた和同開珎も、唐の銭貨であった をもとにしていたと考えられている。貴族らの子弟を学生とする大学寮では、儒教を学ぶ明経道、法律を研究する明法道などとともに、漢文学や中国史を扱う が教えられていた。平安時代の宮廷における漢詩文への関心の高さは、勅撰漢詩文集の成立にも反映されている。

1. 空欄Aに入る古墳の名前を漢字で書きなさい。
2. 空欄Bに入る語句を漢字で書きなさい。
3. 下線部(ア)の法典が成立したときに在位していた天皇を下記の①～④の中から選びなさい。
① 天武天皇 ② 文武天皇 ③ 元明天皇 ④ 元正天皇
4. 空欄Cに入る語句を下記の①～④の中から選びなさい。
① 養老律令 ② 永徽律令 ③ 五刑 ④ 近江令

5. 下線部(イ)の8つの省の中で、天皇の側近で、詔勅の作成をつかさどっていた省を漢字で書きなさい。
6. 遣隋留学生として608年から640年に隋に渡り、帰国して国博士となり、下線部(イ)の政務分担の立案に関わった後、654年に遣唐使として入唐し、そこで死去したとされる人物を下記の①～④の中から選びなさい。
- ① 阿倍仲麻呂 ② 阿倍内麻呂 ③ 玄昉 ④ 高向玄理
7. 空欄Dに入る唐の首都の名前を漢字で書きなさい。
8. 空欄Eに入る語句を下記の①～④の中から選びなさい。
- ① 開元通宝 ② 乾元大宝 ③ 洪武通宝 ④ 宣徳通宝
9. 空欄Fに入る学科名を漢字で書きなさい。
10. 下線部(ウ)の内、最初に成立したものを下記の①～④の中から選びなさい。
- ① 性霊集 ② 金葉集 ③ 凌雲集 ④ 懷風藻

〔Ⅱ〕 次の文章は、鎌倉時代の新仏教運動について述べたものである。これを読んで、下記の設問に対するもっとも適切な答えを書きなさい。設問3, 8, 9, 14, 15については記述解答欄に書き、設問1, 2, 4, 5, 6, 7, 10, 11, 12, 13についてはマーク解答欄にマークしなさい。

12世紀頃、京の都の話である。[A]を開祖とする天台宗の総本山がある[B]から続々と僧侶が下山し、仏法を民衆の間に広めた。これがいわゆる「鎌倉新仏教」の発端である。やや時代が下ると幾多の新しい仏教教団が形成される。代表的な教団をあげるならば、浄土宗、浄土真宗(一向宗)、臨済宗、曹洞宗、日蓮宗(法華宗)、時宗(時衆)などがそうである。浄土宗の開祖は法然、浄土真宗(一向宗)の開祖は[C]、臨済宗は[D]、曹洞宗は[E]、時宗(時衆)は一遍、日蓮宗(法華宗)はその名の通り日蓮である。

なかでも、浄土教と[F]から伝来した禅宗が群を抜いていた。日本の浄土教の起源は平安時代にさかのぼり、鎌倉時代になるとその勢いが増した。念仏行者・遊行者として知られている[G](図1)は、平安末期における浄土信仰の代表的な布教者であった。



図1

浄土教は、難行を斥け、**H** と称えれば、死にゆく者が救済され、臨終の際、悪人でさえ極楽に往生することができるという。図2のようにこの臨終往生の場面を描いた絵を **I** と呼ぶ。



図2

一方、禅宗は自力、つまり修行の必要性を説き、坐禅などの実践法を重視した。鎌倉の武家に支持された臨済宗は「己事究明」(自分自身そのものを明らかにすること)のための修行を重んずる一方で、大陸の最先端の文化も積極的に伝えた。一例を挙げれば、臨済宗の開祖である **D** ははじめて日本に **J** をもたらしたといわれる。「只管打坐」(ひたすら坐ること)をその教趣とし、同じ禅宗の系統に属する曹洞宗はより隠遁的であり、おもに北陸を拠点とした。今日でも多くの修学旅行生が訪れる福井県の **K** は曹洞宗の大本山の一つである。なお、曹洞宗の開祖である **E** が著した **L** は、いまなお日本の宗教史、思想史上の古典として高く評価されている。

日蓮宗(法華宗)と時宗(時衆)の場合は、いずれも浄土宗と浄土真宗(一向宗)と同様、男女老若を問わない民衆への布教によって繁栄を迎えた。浄土教の念仏と同様に、**M** の著者、日蓮の教えは、いわゆる **N** を唱えることを信仰の軸とした。時宗(時衆)の開祖である一遍は **O** 念仏を普及させた

め世に知られるようになった。

このような新しい宗教運動の出現により、日本の仏教の様相はこの時代にすこぶる変遷したと結論できる。

1. 空欄Aに入る人物名を下記の①～④の中から選びなさい。

- ① 空海 ② 源信 ③ 最澄 ④ 空也

2. 空欄Bに入る語句を下記の①～④の中から選びなさい。

- ① 高野山 ② 比叡山 ③ 身延山 ④ 金剛山

3. 空欄Cに入る人物名を漢字2文字で記入しなさい。

4. 空欄Dに入る人物名を下記の①～④の中から選びなさい。

- ① 道元 ② 栄西 ③ 白隠 ④ 円空

5. 空欄Eに入る人物名を下記の①～④の中から選びなさい。

- ① 道元 ② 栄西 ③ 白隠 ④ 円爾

6. 空欄Fに入る時代を下記の①～④の中から選びなさい。

- ① 隋 ② 唐 ③ 宋 ④ 元

7. 空欄Gに入る人物名を下記の①～④の中から選びなさい。

- ① 空海 ② 源信 ③ 景戒 ④ 空也

8. 空欄Hに入る語句を漢字6文字で記入しなさい。

9. 空欄Iに入る語句を漢字3文字で記入しなさい。

10. 空欄Jに入る語句を下記の①～④の中から選びなさい。

- ① 茶 ② 香 ③ 華道 ④ 水墨画

11. 空欄Kに入る寺名を下記の①～④の中から選びなさい。

- ① 建仁寺 ② 東福寺 ③ 長覚寺 ④ 永平寺

12. 空欄Lに入る書物を下記の①～④の中から選びなさい。

- ① 立正安国論 ② 沙石集 ③ 正法眼蔵 ④ 発心集

13. 空欄Mに入る書物を下記の①～④の中から選びなさい。

- ① 立正安国論 ② 沙石集 ③ 正法眼蔵 ④ 愚管抄

14. 空欄Nに入る語句を漢字2文字で記入しなさい。

15. 空欄Oに入る漢字1文字を記入しなさい。

〔Ⅲ〕 次の史料は近世の社会について述べたものである。これを読んで、以下の設問に対するもっとも適切な答えを選び、マーク解答欄にマークしなさい。

【史料Ⅰ】

百姓町人大勢徒党して、強訴濫放することは、昔は治平の世には、をさをさう
(1) け給はり及ばぬこと也。近世になりても、先年はいと稀なる事なりしに、近年は
年々所々にこれ有て、めづらしからぬ事になれり。(中略)いづれも困窮にせまり
て、せん方なきよりおこるとはいへども、詮ずる所上を恐れざるより起れり、
(中略)抑此事の起るを考ふるに、いづれも下の非はなくして、皆上の非なるより
起れり。今の世百姓町人の心も、あしくなりとはいへ共、よくよく堪がたきに至
らざれば、此事はおこる物にあらず。(中略)然るに近年此事の所々に多きは、他
国の例を聞て、いよいよ百姓の心も動き、又役人の取はからひもいよいよ非なる
こと多く、困窮も甚だしきが故に、一致しやすきなるべし。(中略)近年たやすく
一致し固まりて、此事の起りやすきは、畢竟これ人為にはあらず。上たる人深く
遠慮をめぐらさるべきこと也。然りとていかほど起らぬやうのかねての防ぎ工夫
をなす共、末を防ぐばかりにては、止がたかるべし。とかくその因て起る本を直
さずばあるべからず。その本を直すといふは、非理のはからひをやめて、民をい
たはる是なり。たとひいかほど困窮はしても、上のはからひだによろしければ、
此事は起る物にあらず。(中略)さて又近来此騒動多きにつきて、其時の上よりの
あしらひも、やゝきびしく成て、もし手ごはければ、飛道具などをも用ふる事
なれり。これによりて下よりのかまへも、又先年とは事長じて、或は竹槍などを
もち、飛道具などをも持出て、惣体のふるまひ次第に増長する様子也。

1. この史料Ⅰについて、その概要と著者名の正しい組み合わせを、下記の①～④の中から選びなさい。

[概要]

A：紀伊藩主徳川治貞に奉呈されたもの。社会状況に対して為政者がとるべき方策を、古道の精神に即して説いている政治論である。百姓一揆など、現実の社会問題に触れているため、著者の生前には公表されなかった。

B：薩摩藩の重臣猪飼氏に奉呈されたもの。「百姓は国家の根本、農業は政事の基源」という理念のもと、農政の沿革、農民の心得、商人による田産収奪の禁止などを内容とする。

[著者名]

A：佐藤信淵

B：本居宣長

① A－A

② A－B

③ B－A

④ B－B

2. 下線部(1)に関して、近世の農民の反抗運動について述べた以下の文章A～Dについて、その正誤の組み合わせとして正しいものを、下記の①～④の中から選びなさい。

A：地域の村役人・村人が連帯して、大名や幕府に強訴する惣百姓一揆は、18世紀末から起こるようになった。

B：村役人らの富農層の不正を追及し、領主に訴えるなどした、村落内部での村政改革運動である村方騒動は、18世紀後半には沈静化した。

C：村役人らが村人を代表して、領主の苛政を将軍に直訴する代表越訴型一揆は、佐倉惣五郎や礪波左衛門などの義民伝説を生んだ。

D：在郷商人の指導により、1000を超える村の百姓が連帯して、領主や特権商人の流通独占に反対する合法的な訴訟を起こす国訴は、1823年の摂津・河内のものが最初とされている。

① A：正, B：誤, C：正, D：正

② A：誤, B：正, C：誤, D：正

③ A：正, B：正, C：誤, D：誤

④ A：誤, B：誤, C：正, D：正

3. 下線部(2)に関して、史料Ⅰが著された頃、百姓一揆が頻発していた背景の一つとして、この頃起こった飢饉がある。これについて述べられたものとして正しいものを、下記の①～④の中から選びなさい。

- ① 長雨とうんかの害による飢饉で、西日本一帯に被害が出て、米価が高騰、江戸の打ちこわしが起こった。
- ② 浅間山の噴火、冷害、水害などによる全国的な大飢饉で、東北地方の被害ははなはだしく、仙台藩だけで30万人の死者が出たと言われる。
- ③ 西日本の干ばつ、東日本の洪水・冷害などによる全国的な飢饉で、その後の幕藩領主層による農政の転換に大きな影響を与えたと言われる。
- ④ 洪水、冷害などによる全国的な飢饉で、特に奥羽地方の被害が著しく、百姓一揆が激増し、幕府は御救小屋を江戸市中に21か所設けた。

4. 史料Ⅰが著された年に始まった一連の改革の中で、儒学の一学派が正学とされ、それ以外の学派は、異学として湯島聖堂の学問所での教授が禁じられることになった。この時、学問所の儒官となり、寛政の三博士と呼ばれた人物の名として誤っているものを、下記の①～④の中から選びなさい。

- ① 林述斎 ② 岡田寒泉 ③ 柴野栗山 ④ 尾藤二洲

5. 史料Ⅰが著された年に始まった一連の改革の説明として正しいものを、下記の①～④の中から選びなさい。

- ① 印旛沼の干拓工事に取り組んだが、利根川の洪水で失敗した。
- ② 旧里帰農令を出して、江戸に流入した没落農民の帰村・帰農を奨励した。
- ③ 年貢の徴収法として、検見法を改め、定免法を広く取り入れ、幕府の収入を安定させた。
- ④ 農民の零細化を防ぐために、分地制限令を出して、耕地の分割相続を制限した。

6. 江戸時代の、農業の発達、農村の変容について述べた以下の文章のうち、誤っているものを、下記の①～④の中から選びなさい。

① 新田開発が積極的に進められ、田畑の面積は江戸時代初めに164万町歩だったものが、18世紀初めには297万町歩にまで広がった。九州を中心に行われたたたら製鉄によって作られた玉鋼が全国に普及し、多様な農具に加工されて、農業技術の進歩に貢献した。

② 村は、名主、組頭、百姓代からなる村方三役を中心とした本百姓によって運営された。幕府、諸藩、旗本は、こうした自治に依存して、年貢・諸役の割当・収納を行った。この仕組みを村請制と呼ぶ。

③ 18世紀後半になると、質に取った田畑を集めて地主に成長した有力百姓が、その田畑を小作人に貸して小作料を取り、農村地域において商品作物や流通・金融の中心として、地域社会を運営していくようになった。これらの有力百姓を豪農と呼ぶ。

④ 都市の間屋は豪農と連携し、農村部の商品生産や流通を主導するようになり、原料、器具、資金を百姓に前貸しし、生産物を買上げる間屋制家内工業が、絹織物業や、綿織物業などにおいて盛んになっていった。

7. 農産物の全国的な流通が盛んになっていく条件として、交通網の発達是不可欠であった。江戸時代の交通網の発達について述べた以下の文章A～Cについて、その正誤の組み合わせとして正しいものを、下記の①～④の中から選びなさい。

A：東海道、中山道、山陽道、甲州道中、奥州道中の五街道は、重要な幹線道路として幕府の直轄下に置かれ、17世紀半ばから道中奉行によって管理された。

B：五街道や脇街道などの主要な街道には宿駅が多く置かれ、流通の要所となった。宿駅には、本陣、旅籠、問屋場などが設けられた。

C：大坂・江戸間では菱垣廻船、樽廻船が運航するようになり、17世紀後半には江戸の商人だった角倉了以によって東廻り海運・西廻り海運が整備された。

① A：正，B：誤，C：正

② A：誤，B：誤，C：誤

③ A：正，B：正，C：誤

④ A：誤，B：正，C：誤

8. 農業技術を解説し、広く読まれた農書は、農業技術の向上を通じて、農村の生産力の上昇に大きな役割を果たした。19世紀に『農具便利論』や『広益国産考』など、多くの農書を著した農学者の名前を、下記の①～④の中から選びなさい。

① 田中丘隅

② 宮崎安貞

③ 二宮尊徳

④ 大蔵永常

9. 農村の生産力が上がると、商品作物の栽培が盛んになった。商品作物のうち、民間必需として幕府や諸藩に重視されたのが、四木三草と呼ばれた作物である。このうち「三草」の組み合わせとして正しいものを、下記の①～④の中から選びなさい。

① 桑，茶，麻

② 漆，綿，茶

③ 麻，藍，紅花

④ 楮，漆，桑

10. 史料Ⅰが著される時期まで、江戸時代を通じて、総じて農業技術は発達し、農村の生産力は上がったが、その結果、農村は全国的な貨幣経済に組み入れられ、村内では豪農などの有力百姓と、貧農の間の格差が広がり、多くの人々が村を離れ、仕事を求めて都市に流入するなど、社会の構造が大きく変容することにもつながった。これに限らず、この史料が著された頃には、社会の様々な局面で、徳川幕府の体制が揺らぎ始めていた。そうした状況の中での学問・思想について述べた文として誤っているものを、下記の①～④の中から選びなさい。

- ① 『海国兵談』でロシアの南下を警告し海防論を説いた林子平が、人心を惑わせたとして『海国兵談』の版木は没収、本人も禁固刑となるなど弾圧されたが、同じ年、ロシアの使節ラクスマンが、大黒屋光太夫を伴い根室に来航、通商を求めた。
- ② 天文方では、高橋至時が西洋暦法を取り入れた寛政暦を作り、高橋に学んだ伊能忠敬が全国の沿岸を測量し、『大日本沿海輿地全図』を作成した。
- ③ 水戸学においては、『大日本史』の編集に当たった藤田幽谷、幽谷に学んだ会沢正志斎、幽谷の子藤田東湖らによって、朱子学の大義名分論に基づいて天皇を幕府より上位とみなす尊王論が展開され、攘夷思想とも結びつき、倒幕運動の思想的基盤となった。
- ④ 八戸の医師だった山片蟠桃は、自然の世界の根本法則を追究し、これに反するものとして封建社会を厳しく批判し、万人が農耕に従事すべしとする『自然真営道』を著したが、当時は公刊されなかった。

〔Ⅳ〕 次の文章は、主に日本の近代の経済と社会について述べたものである。これを読んで、下記の設問に対するもっとも適切な答えを記入しなさい。設問1～5については記述解答欄に記入し、設問6～10についてはマーク解答欄にマークしなさい。

第一次世界大戦は、日本に大戦景気をもたらした。鉄鋼業、造船業、海運業が発展したほか、ヨーロッパ列強が後退したアジア市場には綿織物などの、またアメリカ市場には生糸などの輸出が増加し、これまで輸入超過を続けていた日本の貿易は輸出超過となり、この間に日本は債 国から債 国に転じた。この時期に、事業で財を蓄積した人々のうち、海運業で巨利を得た人々を特に という。また、銀行資本を中心に各種の事業を独占的に支配する財閥が大きな力をもつようになった。好況が資本家をうるおす一方で、大戦景気による物価の高騰は庶民生活に深刻な影響を与え、特にシベリア出兵をあてこんだ米の投機的買い占めが横行し、富山県の一漁村でおきた女房一揆をきっかけに、全国的にコメの買い占め反対を叫ぶ米騒動が連鎖的に広がった。

第一次世界大戦前後の世界的な民主主義の風潮は、大正デモクラシーと呼ばれる新しい思想や運動を生んだ。また、ロシア革命や米騒動などをきっかけとして社会運動が勃興した。また、この時期には、平塚らいてうと市川房枝らによって1920年に が設立され、1924年には婦人参政権獲得期成同盟会が結成されるなど、女性の地位向上を目指す運動がさかんになった。

一方、第一次世界大戦前後の時期は、工業化の進展を背景に、都市化・社会の大衆化が顕著になり、都市中間層と呼ばれる中産階級が形成される。彼らは大衆文化の担い手となり、大衆文学やマスメディアが急速に発達した。都市を中心に事務系統の職場で働く給与生活者も大量に出現し、女性がタイピストや電話交換手などの職種に進出して職業婦人とよばれた。また、寺社や温泉地などの観光地への旅行に加え、遊園地、映画などの娯楽も大衆化した。日本の大正期の映画は、まだセリフや音がない無声映画であったが、その後1931年に画面と音が一体となった有声映画が始まった。このような有声映画は と呼ばれた。

1. 空欄Aに入る漢字1文字を書きなさい。
2. 空欄Bに入る漢字1文字を書きなさい。
3. 空欄Cに入る語句を漢字3文字で書きなさい。
4. 空欄Dに入る語句を漢字で書きなさい。
5. 空欄Eに入る語句をカタカナで書きなさい。
6. 下線部(ア)により大きな影響を受け総辞職した内閣の首相に代わり、1918年に首相となった人物を下記の①～⑤の中から選びなさい。
 - ① 石井菊次郎 ② 原 敬 ③ 高橋是清
 - ④ 加藤友三郎 ⑤ 寺内正毅
7. 下線部(イ)と同時期に提唱された思想や説と、提唱した中心的人物の正しい組み合わせを下記の①～⑤の中から選びなさい。
 - ① 上杉慎吉－天皇機関説(国家法人説)
 - ② 美濃部達吉－天皇主権説
 - ③ 吉野作造－国家主義
 - ④ 石橋湛山－国民主権論
 - ⑤ 平沼騏一郎－民本主義
8. 下線部(ウ)について、この頃に設立された組織と設立した中心的人物の組み合わせのうち、誤ったものを下記の①～⑤の中から選びなさい。
 - ① 日本農民組合－杉山元治郎
 - ② 全国水平社－西光万吉
 - ③ 友愛会－賀川豊彦
 - ④ 赤瀾会－山川菊栄
 - ⑤ 日本社会主義同盟－山川均

9. 下線部(ア)に関し、1913年に『都新聞』に発表され、大衆文学興隆のもととなった長編小説を下記の①～⑤の中から選びなさい。

- ① 『丹下左膳』 ② 『宮本武蔵』 ③ 『大菩薩峠』
④ 『鞍馬天狗』 ⑤ 『猿飛佐助』

10. 下線部(イ)に関し、大正期に創刊された雑誌にあてはまらないものを下記の①～⑤の中から選びなさい。



① 『改造』



② 『キング』



③ 『赤い鳥』



④ 『女学雑誌』



⑤ 『解放』

